

お元気ですか日本共産党村議の

川崎あつ子です

(かわさき 篤子)



2010年 6月 20日 38

ご相談はお気軽にお寄せください

〒319-1106 東海村白方284-1

TEL/FAX 029-282-0229

atsuko-k@car.ocn.ne.jp



議員控室側に飾られたアジサイ

6月議会が15日で閉会しました。今回の村長提出議案は、合計17件でした。日本共産党議員団は、その内、専決処分の承認2件について反対し、討論を

行いました。一般質問は、みなさんの声をもとに取り上げ全力で頑張りました。質問項目ほか活動の一部をご報告いたします。

梅雨に入り、アジサイが映える季節となりました。いよいよ参院選です。「大企業減税の穴埋めの消費税増税に反対」の声は、日本共産党に託して下さい。

## 質問

### 1. 高齢者グループホーム利用者への村助成について

利用者の娘さんから「本村に住む実家の母が、グループホームでお世話になっている。兄たちの負担が大変です。利用支払い料のなんらかの助成は受けられないのでしょうか。」

### 2. 茨城交通株式会社バス路線廃止に伴う村の対応について

「8時の東茨城病院行きのバスを利用している。これが6月で完全廃止になってしまうと通勤できなくなる。福祉バスは走らせられないのでしょうか」



8時出発の東茨城病院行きの茨交バス

### 3. 住宅リフォーム助成制度および小規模工事契約申請制度の村創設を

「以前は、小さな仕事でも特定の大きい会社にしか行政の仕事が行かなかった。制度が始まってからは、かなりの規模の仕事でも、私のような小さい業者に回ってくるようになりました。」

行政の仕事をもたらる業者が、確実に増えましたよ」と歓迎されている自治体が増えています。、村での創設が望まれます。

### 4. 旧白方小跡地利用 パブリックコメント(意見公募)の対応について

跡地利用について、事前に出された住民要求の一部も取り入れる方向で検討をされているようですが、パブリックコメントによって寄せられた意見を今後どのように取り入れ、構想を計画する見通しか「なんとなく夜は、不気味な感じがする」という不安な声も出されています。

### 5. 特別支援学級(障害児学級)の拡充について

子どもの「最大限の発達」と「社会への完全かつ効果的な参加」のために教育条件を整備すること。

### 6. 東海第2原発の津波対策について

2月末のチリ地震による津波、原子炉を冷却する海水が取水できなくなるなど、重大事故につながる恐れがある。「東海原発はどうなっているか」との心配の声が寄せられました。

詳細は、後日「明るい東海」で、みなさんのご家庭の新聞折り込みにてお知らせいたします。

## 久慈川水系連合水防訓練

5月29日石神外宿久慈川河川敷において、早朝8時から11時半まで4市1村の久慈川水系連合水防訓練が行われ、来賓として出席をしました。5年に1度東海村に回ってくると言う、良い機会に恵まれたわけですが、初めて目にする、出水対策の伝承わざや竹の役割の重要さに感心させられました。

本災害が起こることのないように願いつつ、災害時の十分な対応が図れる人員の確保も課題ではないかと考えさせられました。



水防訓練の様子

## 阿漕ヶ浦

「阿漕ヶ浦が増水し、晴れの日には臭います。井戸水も心配です」と周辺にお住まいの方々から心配の声が寄せられました。「以前は、アシが生えている処の先が水ぎわでした」



増水で渡れなくなった遊歩道

個人の所有物ということですが、村としても何らかの対応策が必要です。

## エッ!(@\_@;) 大丈夫? 菅内閣”

### 菅首相の発言 昔と今 比べると…

#### 海兵隊の抑止力

海兵隊は(日本を)守る部隊ではない。地球の裏側まで飛んでいって、攻める部隊だ。沖縄に海兵隊がいるかないかは、日本にとっての抑止力とはあまり関係がない(2006年6月1日の講演)



海兵隊を含む在日米軍の抑止力は、(日本の)安全保障上の観点から極めて重要だと考えている(10年6月14日の衆院本会議)



#### 米国との交渉姿勢

海兵隊は即座に米国内に戻ってもらっていい。民主党が政権を取れば、しっかりと米国に提示する事を約束する(01年7月21日、那覇市での演説)

(普天間基地の辺野古「移設」を明記した)先般の(日米)合意を踏まえ、しっかりと取り組んでいきたい(10年6月6日のオバマ米大統領との電話会談)

日米合意を白紙撤回しアメリカに沖縄県民の声を伝え無条件撤去を言うべきです!

志位委員長は、5月初めアメリカを訪問し、核兵器の廃絶、沖縄基地の問題を国連やアメリカ政府で、日本国民の立場をしっかりと伝え、被爆国日本の存在を確かなものにしました。

アメリカにも、財界にも 国民の立場ではっきりとものを言う 日本共産党

### NPT再検討会議議長から志位委員長に返書

リブラン・カバクチュラン核不拡散条約(NPT)再検討会議議長から9日、日本共産党の志位和夫委員長に書簡が寄せられました。

これは、志位委員長が7日に送った、同会議の最終文書を「核兵器のない世界」にむけた重要な一歩前進とする談話と同議長の奮闘に感謝する書簡に対する返書です。

同書簡は次の通りです。



志位和夫委員長 リブラン・カバクチュラン氏

NPT再検討会議最終文書に関するあなたの談話を2010年6月7日付書簡とともに受け取りました。5月28日に閉幕したこの会議において私が議長としての役割を成功裏に果たす努力をしたことへのあなたの支持に感謝します。

私はまた、時間枠を定めた核兵器廃絶とともに核兵器禁止条約(NWC)の真剣な検討を求める声が、NPT再検討会議への参加国政府に確実に届くようにとのあなたの努力に感謝します。結果的に、再検討会議の間に合意されたもの(とりわけNWC交渉に関して)以上に足を踏み出すことへの核保有国の消極姿勢から、最終文書に反映されたのは現段階で最大限達成可能な内容でした。

あなたの努力が、この会議のプロセスにきわめて大きな貢献となり、10年NPT再検討会議の大きな成功に役立ったことは確実です。